

会社名: コダック株式会社
 担当部門: ドキュメントイメージング アンド ビジネスプロセスサービス事業部
 所在地: 東京都千代田区神田駿河台 2-9 研究社ビル (〒101-0062)
 電話番号: 03(5577)1380 FAX: 03(5577)1333

緊急連絡先: (財)日本中毒情報センター【中毒 110 番】
 (事故に伴い急性中毒の恐れのある場合に限る)
 9時から17時まで: 0990(52)9899 (ダイヤル Q2 有料)
 又はダイヤル Q2 を利用できない医療施設の場合は 0298(51)9999
 これ以外の時間帯: 0990(50)2499 (ダイヤル Q2 有料)
 又はダイヤル Q2 を利用できない医療施設の場合は 06(6878)1232

MSDS No.200000640/F/USA/JP

承認日: 2001 年 1 月 16 日

作成日: 2002 年 4 月 1 日

1	製品名
---	-----

コダック プロスター プラス フィクサー

CAT No.102 2656

1 ガロン用

原産国: アメリカ合衆国

2	物質の特定
---	-------

混合物

成分	重量%	CAS No.	PRTR 政令番号
水	70-80	7732-18-5	
チオ硫酸塩アンモニウム	20	7783-18-8	
亜硫酸塩アンモニウム	1-5	10196-04-0	
硫酸ナトリウム	<1	7757-83-7	
Pentetic 酸、5-ナトリウム塩	<1	140-01-2	
ヨウ化カリウム	<1	7681-11-0	

3	危険・有害性の分類
---	-----------

危険 : 飲み込めば、有害となる。

4	応急措置
---	------

吸入した場合 : 症状が出たら、空気の新鮮な場所へ移動する。症状が続くならば、医療手当てを受ける。
 眼に入った場合 : どんな物質が眼に付着しても、直ちに多量の水で洗浄する。症状が続くなら、医療手当てを受ける。
 皮膚に付着した場合 : 石鹸と水で洗う。症状が続くなら、医療手当てを受ける。
 誤飲した場合 : コップ 1~2 杯の水を飲む。医師のアドバイスを受ける。意識を失った人には何も飲ませない。

5	火災時の措置
	<p>消火手段 : 散水、二酸化炭素(CO₂)、粉末消火剤、アルコール泡沫</p> <p>火災時の特別対応手段 : 呼吸用保護具と保護衣を着用する。火災や過度の熱により危険分解物質を生じる可能性がある。</p> <p>製品の燃焼の危険性 : 窒素酸化物、硫黄酸化物(製品分析の危険性の項を参照)</p> <p>異常火災/爆発の危険性 : 溶液は強い還元剤を含んでいる。乾燥した製品の残留物が、還元剤となる可能性がある。</p>
6	漏出時の措置
	<p>多量の水と共に下水に流す。または、パーミュライトまたは不活性物質に吸収させ、化学物質廃棄用の容器に回収する。残留汚物を取り除くために表面を清掃する。</p>
7	取扱い及び保管上の注意
	<p>取扱い : 霧、蒸気を吸い込まない。目への付着、皮膚に長時間あるいは繰り返し付着することを避ける。換気のよい場所で取り扱う。取扱後はよく洗う。</p> <p>火災や爆発の防止 : 酸化物質、高酸素処理溶剤、ハロゲン化溶剤、還元剤を含む有機化合物に近づけない。</p> <p>保管 : 密栓して保管する。配合禁忌の物質に近づけない。(配合禁忌の項を参照)</p>
8	暴露防止措置
	<p>許容濃度 : 未確立</p> <p>換気 : 一般的に換気のよい場所で取扱う。(10 air changes/時間)。換気率は環境に合わせること。</p> <p>呼吸器の保護 : 必要なし。危険な分解製品が存在、放出される可能性がある場合、人工呼吸器の着用が望ましい。</p> <p>人工呼吸器の種類 : 顔全体を覆う空気供給型。危険性情報(安定性・反応性)の項を参照。</p> <p>眼の保護 : 産業衛生学上、眼への付着を最小にする。側板付き眼鏡(ゴーグル)を着用。</p> <p>皮膚の保護 : 皮膚への付着を最小にすることは、産業衛生学上良い。長時間、または何度も操作する場合、皮膚への付着の可能性があるため、不浸透性の手袋を着用する。</p> <p>浄化する設備 : 洗眼機、身体洗浄の設備(安全シャワー)を推奨する。</p>
9	物理・化学特性
	<p>外観 : 液体</p> <p>色 : 黄色</p> <p>臭気 : アンモニア臭</p> <p>沸点 : >100°C</p> <p>蒸気圧 : 24mbar(18mmHg)/20°C</p> <p>蒸気密度(空気 = 1) : 0.6</p> <p>揮発留分(重量) : 78%</p> <p>比重(水 = 1) : 1.12</p> <p>水溶性 : 完全</p> <p>pH : 7.2</p> <p>引火点 : なし</p>

10 危険性情報(安定性・反応性)

安定性	: 安定
不適合物質	: 強酸化剤、可燃性物質、ハロゲン化溶剤、強酸、塩素。塩基に接すると可燃性物質を遊離する。
危険分解物質	: アンモニア、硫黄酸化物、クロラミン
危険重合物質	: 発生しない。

11 有害性情報(暴露の影響)

吸入	: 熟練者による通常の手扱いは、危険性は少ないと予想される。強い酸や熱を加えた場合、亜硫酸塩が二酸化硫黄ガスを放出することがある。二酸化硫黄ガスは、呼吸器官に炎症を起こす。喘息患者や過敏症の者が、呼吸困難に陥る場合がある。
眼	: 知見なし。一過性の炎症を起こすことがある。
皮膚	: 皮膚アレルギー反応を起こすことがほとんどないが、過敏症の人の皮膚への反応が報告されている。
誤飲	: 飲み込めば、有害となる可能性がある。喘息患者または亜硫酸塩に過敏な人が、呼吸困難、胸の痛み、吐き気、発疹、めまい、下痢を起こすことがある。

12 環境影響情報

毒性	
魚	LC50mg/l : >100
水生物	EC50mg/l : >100
海藻	IC50ml/l : 不明
有機物分解 (>70%)	: なし
化学および	
生化学的酸素要求量	: <1
	COD(g/l) : 52
	BOD5(g/l) : 43
潜在的毒性	
廃棄物処理用微生物	
	EC50mg/l : >100

13 廃棄時の注意

特別管理産業廃棄物には該当しない。

自社で廃水処理設備を所有していない場合には、全量を回収した上で、専門の廃液処理業者に委託して処理する。

廃棄時に該当する法規

化学物質管理促進法(PRTR法)	
廃棄物処理法	: 産業廃棄物(廃アルカリ)
水質汚濁防止法	: 生活環境項目
下水道法	: 下水の排除の制限

14 | 輸送上の注意

Air Transportation

Class	:	-----
UN-No.	:	-----
Proper Shipping Name	:	-----
Subsidiary risk	:	-----
Packaging group	:	-----
Passenger aircraft	:	-----
Cargo aircraft only	:	-----
Further information	:	-----

15 | 適用法令

下記参照。

化学物質管理促進法 (PRTR 法)	:	-----
毒物劇物取締法 (毒劇法)	:	-----
労働安全衛生法 (安衛法)	:	-----
消防法危険物分類 (消防法)	:	-----

発がん物質分類 (含有率 0.1%以上含むもの)

IARC	:	なし
ACGIH	:	なし
NTP	:	なし
OSHA	:	なし

16 | その他

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、上記の内容は補足の情報と見なし、取り扱いには十分注意して下さい。